

生徒と地域が一体で、奉仕活動を実践

常盤中学校がいなほの里へ、福祉用具を寄贈



3月6日に能代市立常盤中学校から、J A
 デイサービスセンター『いなほの里』に対し、
 機能回復訓練等に使用される平行棒1台が寄贈
 されました。

同校では毎年、常盤小学校児童も所属する
 J R C委員会が中心となり、地域でアルミ缶
 や空き瓶等の回収、募金活動等による収益金
 を活用し、市内福祉
 施設へ備品を寄贈し
 ています。

いなほの里には、
 昨年介護ベッドを
 寄贈頂きました。

J R C委員長の大
 倉慎也さんは「今後
 も奉仕活動を通じ、
 人の役に立つ取組を
 行っていきたい。」と
 話してくれました。



▶寄贈された福祉用具の平行棒

種子消毒から田植えまでの管理を説明

健苗育成に向けて、稲作部会が栽培講習会を開催



稲作部会(大塚公
 隆部会長)は、育苗
 技術向上や栽培に向
 けた注意点などを説
 明する、水稲育苗技
 術講習会を3月20日
 に開催しました。

苗半作と言われる
 ように、高品質・高
 収量の米生産には健
 苗育成が重要となり
 ます。講習会には生
 産者約80名が参加し、
 地域振興局の中村智幸氏とファルマ(株)深谷富
 夫氏を講師に、次年度へ向けた栽培管理や病
 害虫対策を説明して、「春先の低温や日照不
 足等に対応した、育苗環境の適正温度管理に
 心掛け、早め早めの防除を心掛けて欲しい。」
 と呼びかけていました。



◀栽培管理について理解を深める

経営計画など全5議案を協議

平成26年度の事業へ向けて、臨時総代会を開催



平成26年度経営計画等を協議する臨時総代
 会が3月25日、能代山本広域交流センターで
 開催され、全5議案や付帯決議が原案通り承
 認されました。

臨時総代会には総代500名のうち、実出
 席193名・書面議決254名・委任状6名
 の合計453名が出席。はじめに石山組合長
 が「新たな農政やT
 P Pなど、農業は依
 然厳しい状況だが、
 地域に根ざした事業
 を展開して、組合員
 が安心して暮らせる
 社会づくりを目指す。」と挨拶。その後、
 経営計画や定款の役
 員定数変更などが協
 議され、満場の拍手
 で承認されました。



▶今後のJA事業を話す石山組合長